



統計資料26-12

平成 26 年 12 月 12 日
統計課人口社会係
Tel:027-226-2406(ダイヤルイン)

群馬県の年齢別人口

群馬県年齢別人口統計調査結果

(平成 26 年 10 月 1 日現在)

群馬県企画部統計課

ま え が き

群馬県では、5年毎に行われる国勢調査の中間年における年齢別人口統計を補完するため、昭和56年から毎年10月1日現在で、年齢別人口統計調査を実施しております。

この報告書は、平成26年10月1日現在の市町村別、男女別、年齢別人口の推計結果を収録したものです。

この報告書が県・市町村の各種行政施策の基礎資料として、また、各方面において広く利用され、お役に立てれば幸いです。

終わりに、この調査の実施にあたり御協力を頂きました関係各位に対しまして、厚く御礼を申し上げますと共に、今後とも一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

群馬県企画部長 笠原 寛

目 次

利用者のみなさまへ	1
-----------------	---

I 群馬県の年齢構造

1 年齢5歳階級別人口	2
■表1 本県の年齢5歳階級別人口	
★図1 群馬県の人口ピラミッド	
2 年齢3区分別人口	4
■表2 本県の年齢3区分別人口及び割合の推移	
★図2-1 本県の年齢3区分別人口の推移	
★図2-2 本県の年齢3区分別人口割合の推移	
(参考) 全国の年齢3区分別人口の推移	
3 年齢構成指数	8
★図3 本県の年齢構成指数の推移	
■表3 本県の年齢構成指数の推移	

II 市町村の年齢構造

1 年齢3区分別人口割合	10
■表4 市町村別・年齢3区分別人口割合	
★図4-1 市町村別・年少人口割合	
★図4-2 市町村別・老年人口割合	
2 年齢構成指数	12
■表5 市町村別・年齢構成指数	
★図5-1 市町村別・年少人口指数	
★図5-2 市町村別・老年人口指数	
★図5-3 市町村別・従属人口指数	
★図5-4 市町村別・老年化指数	

統計表

第1表 市町村、男女、年齢（各歳・5歳階級）別人口	17
第2表 市町村、男女、年齢3区分別人口	62
第3表 市町村、男女、年齢3区分別人口の割合	64
第4表 市町村別年齢構成指数	65
付 録 75歳以上の人口と割合	66

利用者のみなさまへ

本書の利用にあたっては、下記事項に御留意ください。

- 1 この調査は、平成 22 年国勢調査結果による市町村・男女別の年齢別人口を基礎とし、これに 10 月 1 日から翌年 9 月 30 日までの 1 年間における住民基本台帳の移動数を加減して算出しており、毎年 10 月 1 日現在で公表しています。
- 2 本調査と群馬県移動人口調査では、転出者及び転入者の把握方法が異なるため、平成 26 年 10 月 1 日現在の市町村別、男女別人口は一致しません。利用にあたっては注意してください。
- 3 本調査における年齢不詳者数は、平成 22 年国勢調査結果のものをそのまま継続したものです。(次回の国勢調査まで同じ数値が持ち越されます)
- 4 割合は、注記のある場合を除き、分母から年齢不詳を除いて計算をしています。

用語の解説

年少人口	……	0～14歳の人口
生産年齢人口	……	15～64歳の人口
老年人口	……	65歳以上の人口
年少人口割合	……	$(\text{年少人口} \div \text{総人口}) \times 100$
生産年齢人口割合	……	$(\text{生産年齢人口} \div \text{総人口}) \times 100$
老年人口割合	……	$(\text{老年人口} \div \text{総人口}) \times 100$
年少人口指数	……	$(\text{年少人口} \div \text{生産年齢人口}) \times 100$ ☆年少人口に対する生産年齢人口の扶養負担度を表す
老年人口指数	……	$(\text{老年人口} \div \text{生産年齢人口}) \times 100$ ☆老年人口に対する生産年齢人口の扶養負担度を表す
従属人口指数	……	$\{(\text{年少人口} + \text{老年人口}) \div \text{生産年齢人口}\} \times 100$ ☆年少人口及び老年人口に対する生産年齢人口の扶養負担度を表す
老年化指数	……	$(\text{老年人口} \div \text{年少人口}) \times 100$ ☆人口の老年化の程度を表す

- ※ 平成 22 年国勢調査結果による市町村・男女別の年齢別人口統計については、総務省統計局のインターネットサイト(下記 URL)をご覧ください。
<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?bid=000001034998&cycode=0>
(第3-2表 年齢(各歳), 男女別人口, 年齢別割合, 平均年齢及び年齢中位数(総数及び日本人))
- ※ 「群馬県統計情報提供システム」(下記 URL)に公表資料の電子データを掲載していますので、御活用ください。
<http://toukei.pref.gunma.jp/>

I 群馬県の年齢構造

1 年齢5歳階級別人口（表1、図1）

(1) 人口及び割合

・最も多いのは40～44歳の14万9610人、7.6%

平成26年10月1日現在の本県の人口は197万5105人で、これを年齢5歳階級別にみると、40～44歳が14万9610人で最も多く、総人口に占める割合は7.6%となっています。

以下、65～69歳が14万8730人で7.6%、60～64歳が14万6331人で7.4%、35～39歳が13万442人で6.6%、45～49歳が13万388人で6.6%の順となっています。

(2) 人口増減率

・増加率が最も高いのは100歳以上の10.9%

・減少率が最も高いのは60～64歳の6.6%

平成25～26年の年齢5歳階級別人口増減率をみると、人口増加率が最も高かったのは、100歳以上の10.9%で、以下、90～94歳の7.5%、70～74歳の5.3%、65～69歳の5.0%、85～89歳の3.5%の順となっています。

一方、人口減少率が最も高かったのは、60～64歳の6.6%で、以下、25～29歳の5.5%、35～39歳の4.8%、30～34歳の3.5%の順となっています。

■表1 本県の年齢5歳階級別人口（平成26、25年）

年 齢	人 口		割 合		平成26～25年の増減率 (A-B) ÷ B × 100
	平成26年 (A)	平成25年 (B)	平成26年	平成25年	
総 数	1,975,105	1,983,033	100.0	100.0	△ 0.4
0～4歳	78,103	79,471	4.0	4.0	△ 1.7
5～9	84,831	86,388	4.3	4.4	△ 1.8
10～14	94,712	96,064	4.8	4.9	△ 1.4
15～19	99,611	100,443	5.1	5.1	△ 0.8
20～24	89,613	86,954	4.6	4.4	3.1
25～29	87,690	92,753	4.5	4.7	△ 5.5
30～34	106,487	110,301	5.4	5.6	△ 3.5
35～39	130,442	137,045	6.6	6.9	△ 4.8
40～44	149,610	147,347	7.6	7.5	1.5
45～49	130,388	127,341	6.6	6.5	2.4
50～54	117,666	117,167	6.0	5.9	0.4
55～59	122,569	124,764	6.2	6.3	△ 1.8
60～64	146,331	156,602	7.4	7.9	△ 6.6
65～69	148,730	141,590	7.6	7.2	5.0
70～74	125,190	118,903	6.4	6.0	5.3
75～79	94,438	95,587	4.8	4.8	△ 1.2
80～84	77,187	76,409	3.9	3.9	1.0
85～89	51,693	49,922	2.6	2.5	3.5
90～94	22,015	20,473	1.1	1.0	7.5
95～99	6,111	5,917	0.3	0.3	3.3
100歳以上	973	877	0.0	0.0	10.9
年齢不詳	10,715	10,715	(0.5)	(0.5)	-

(資料) 群馬県年齢別人口統計調査、国勢調査

(注) 1. 各年10月1日現在。

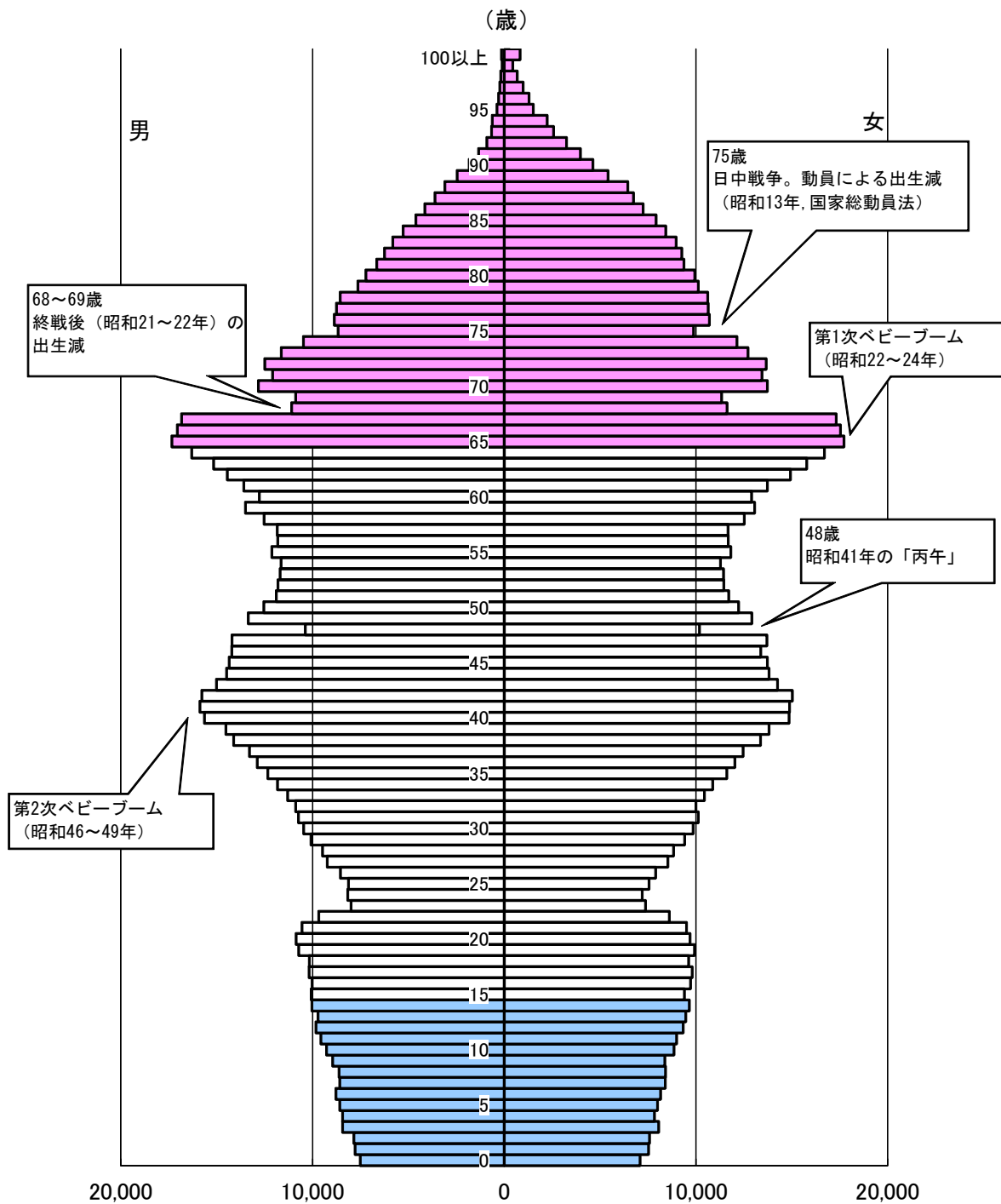
2. 割合は単位未満四捨五入のため総数等と一致しない場合がある。

また、分母から年齢不詳を除いて計算している。

3. 年齢不詳の割合のみ、総数を分母に用いている。

4. 表中の△印は減少を表す。

★図1 群馬県の人口ピラミッド(平成26年10月1日現在)



(資料) 群馬県年齢別人口統計調査結果

(人)

(注) 年齢不詳(総数10,715人、男6,396人、女4,319人)は含まない。

2 年齢3区分別人口（表2、図2-1、2-2）

平成26年10月1日現在の本県の人口を年齢3区分別にみると、0～14歳の年少人口が25万7646人、15～64歳の生産年齢人口が118万407人、65歳以上の老年人口が52万6337人となり、それぞれ総人口に占める割合は、13.1%、60.1%、26.8%となりました。

これを前年10月1日現在と比べると、年少人口割合が0.2ポイントの減少、生産年齢人口割合が0.8ポイントの減少、老年人口割合が1.0ポイントの増加となっています。

なお、総務省が公表している「人口推計-平成26年10月報-(概算値)」の全国総人口の年齢3区分別構成比（年少人口割合12.8%、生産年齢人口割合61.3%、老年人口割合26.0%）と比較すると、年少人口割合は上回ること0.3ポイント、生産年齢人口割合は下回ること1.2ポイント、老年人口割合は上回ること0.8ポイントとなっています。

(1) 年少人口

・年少人口、年少人口割合ともに減少し、過去最低に

本県の年少人口は、昭和20年をピークに減少を続け、第二次ベビーブームの影響で昭和50年以降一時的に上昇に転じましたが、昭和57年から再び減少を始め、平成26年には過去最低の25万7646人になりました。

また、年少人口割合は、昭和25年以降低下を続け、昭和45年には23.9%となりました。その後、昭和50年には24.3%と上昇しましたが、昭和55年から再び低下し始め、平成26年には過去最低の13.1%となりました。

(2) 生産年齢人口

・生産年齢人口、生産年齢人口割合ともに減少

本県の生産年齢人口は、戦前戦後を通じ一貫して増加を続け、平成7年に初めて減少したものの、平成8年から再び増加しました。しかし、平成11年以降は毎年減少しており、平成26年には前年比2万310人減の118万407人となりました。

また、生産年齢人口割合は、戦後上昇を続け、昭和45年を境にいったん低下しましたが、昭和57年から再び上昇しました。しかし、平成4年以降は毎年低下しており、平成26年には前年比0.8ポイント減少の60.1%となりました。

(3) 老年人口

・老年人口、老年人口割合ともに増加し、過去最高に

本県の老年人口は、昭和25年以降急速に増加を続け、平成26年には、昭和25年の6倍を超える52万6337人となりました。総人口は昭和25年の約1.23倍であることから、老年人口の増加がきわめて急速であることがわかります。

老年人口割合も、戦後一貫して上昇を続け、平成24年からは毎年約1.0ポイントずつ上昇し、平成26年には過去最高の26.8%に達しました。

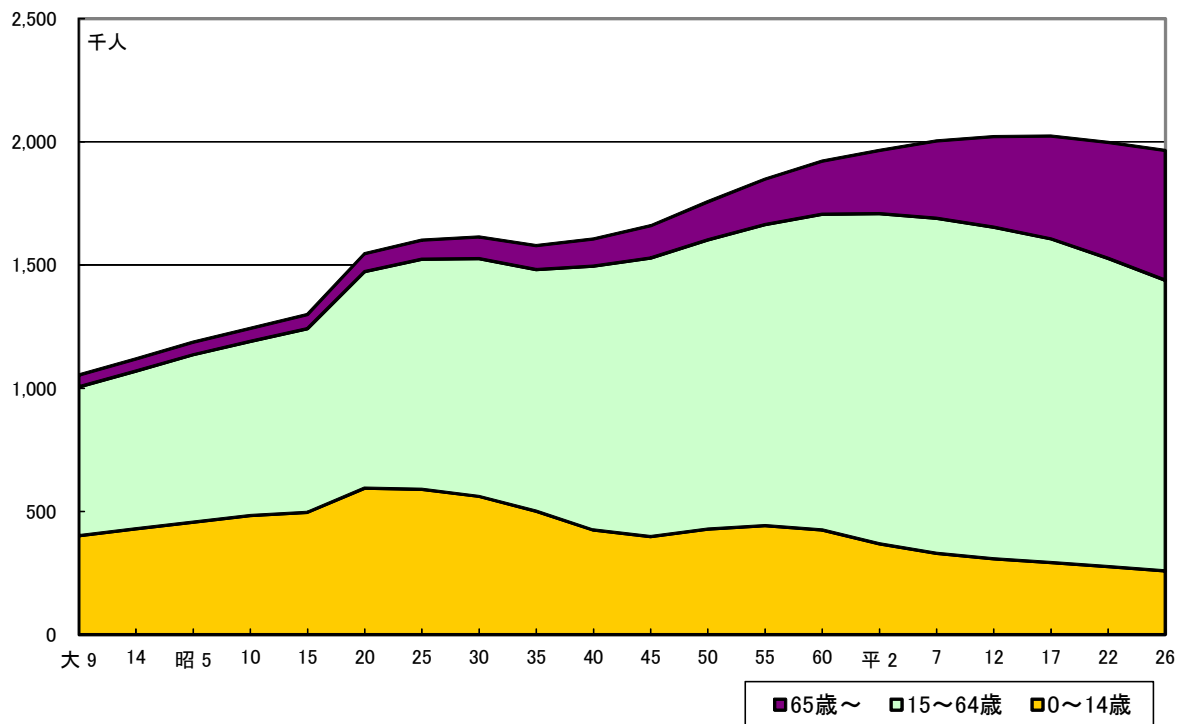
■表2 本県の年齢3区分別人口及び割合の推移(大正9年～平成26年)

年次	人 口				割 合			
	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳～	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳～
大正 9	1,052,610	400,623	604,063	47,924	100.0	38.1	57.4	4.6
14	1,118,858	429,515	639,869	49,474	100.0	38.4	57.2	4.4
昭和 5	1,186,080	455,637	679,793	50,650	100.0	38.4	57.3	4.3
10	1,242,453	483,029	706,553	52,871	100.0	38.9	56.9	4.3
15	1,298,853	496,258	745,405	57,187	100.0	38.2	57.4	4.4
20	1,546,081	594,225	879,205	72,651	100.0	38.4	56.9	4.7
25	1,601,380	589,584	934,110	77,528	100.0	36.8	58.3	4.8
30	1,613,549	560,888	965,061	87,593	100.0	34.8	59.8	5.4
35	1,578,476	500,151	981,555	96,770	100.0	31.7	62.2	6.1
40	1,605,584	423,874	1,071,433	110,277	100.0	26.4	66.7	6.9
45	1,658,909	397,032	1,131,078	130,799	100.0	23.9	68.2	7.9
50	1,756,480	427,621	1,174,392	154,371	100.0	24.3	66.9	8.8
55	1,848,562	441,548	1,222,826	184,115	100.0	23.9	66.2	10.0
56	1,863,367	445,699	1,227,464	190,131	100.0	23.9	65.9	10.2
57	1,877,180	441,232	1,240,077	195,798	100.0	23.5	66.1	10.4
58	1,890,066	436,828	1,251,521	201,644	100.0	23.1	66.2	10.7
59	1,903,354	431,588	1,265,062	206,631	100.0	22.7	66.5	10.9
60	1,921,259	424,829	1,281,535	214,871	100.0	22.1	66.7	11.2
61	1,930,960	415,286	1,294,981	220,669	100.0	21.5	67.1	11.4
62	1,940,052	403,965	1,308,345	227,718	100.0	20.8	67.4	11.7
63	1,948,521	391,545	1,320,893	236,059	100.0	20.1	67.8	12.1
平成 元	1,959,087	380,038	1,333,641	245,384	100.0	19.4	68.1	12.5
2	1,966,265	368,080	1,340,557	256,367	100.0	18.7	68.2	13.0
3	1,981,028	358,623	1,353,188	267,956	100.0	18.1	68.4	13.5
4	1,992,440	351,216	1,360,512	279,451	100.0	17.6	68.3	14.0
5	1,999,956	343,010	1,365,161	290,524	100.0	17.2	68.3	14.5
6	2,007,162	336,235	1,367,587	302,079	100.0	16.8	68.2	15.1
7	2,003,540	329,960	1,360,039	313,425	100.0	16.5	67.9	15.6
8	2,010,997	325,120	1,360,275	325,486	100.0	16.2	67.6	16.2
9	2,018,563	321,272	1,360,341	336,834	100.0	15.9	67.4	16.7
10	2,024,675	316,944	1,360,491	347,124	100.0	15.7	67.2	17.1
11	2,029,094	312,592	1,359,247	357,139	100.0	15.4	67.0	17.6
12	2,024,852	306,895	1,346,441	367,117	100.0	15.2	66.6	18.2
13	2,031,622	304,334	1,344,502	378,387	100.0	15.0	66.3	18.7
14	2,032,540	301,447	1,337,865	388,829	100.0	14.9	66.0	19.2
15	2,034,315	298,673	1,333,098	398,145	100.0	14.7	65.7	19.6
16	2,035,542	295,833	1,329,824	405,486	100.0	14.6	65.5	20.0
17	2,024,135	291,995	1,314,259	416,909	100.0	14.4	65.0	20.6
18	2,019,120	289,403	1,299,811	428,934	100.0	14.3	64.4	21.3
19	2,016,861	286,946	1,287,088	441,855	100.0	14.2	63.8	21.9
20	2,014,076	284,729	1,274,922	453,453	100.0	14.1	63.3	22.5
21	2,008,452	281,571	1,260,652	465,257	100.0	14.0	62.8	23.2
22	2,008,068	275,225	1,251,608	470,520	100.0	13.8	62.7	23.6
23	2,000,871	271,513	1,242,448	476,195	100.0	13.6	62.4	23.9
24	1,992,556	266,546	1,222,139	493,156	100.0	13.4	61.7	24.9
25	1,983,033	261,923	1,200,717	509,678	100.0	13.3	60.9	25.8
26	1,975,105	257,646	1,180,407	526,337	100.0	13.1	60.1	26.8

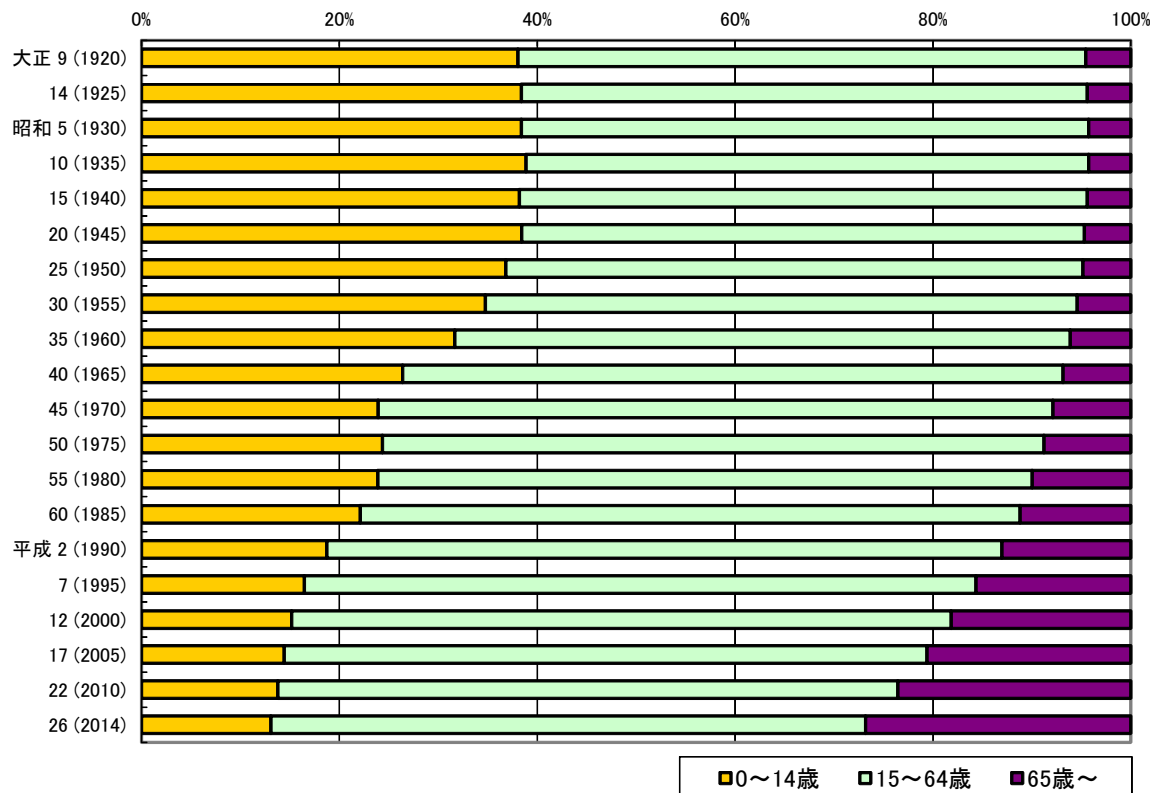
(資料) 表中の5年毎の数値は国勢調査結果による。(ただし、昭和20年は人口調査結果) 斜字・網掛け部分は群馬県年齢別人口統計調査結果(昭和56年調査開始)による。

- (注) 1 各年10月1日現在。(ただし、昭和20年は11月1日現在)
 2 総数に年齢不詳を含む場合がある。
 3 割合は単位未満四捨五入のため、総数等と一致しない場合がある。
 また、分母から年齢不詳を除いて計算している。

★図 2-1 本県の年齢 3 区分別人口の推移(大正 9 年～平成 26 年)



★図 2-2 本県の年齢 3 区分別人口割合の推移(大正 9 年～平成 26 年)



(参考) 全国の年齢3区分別人口の推移(大正9年～平成22年)

	人 口				割 合			指 数				
	総 数	年 少 人 口	生 産 年 齢 人	老 年 人 口	年 少 人 口	生 産 年 齢 人	老 年 人 口	年 少 人 口	老 年 人 口	従 属 人 口	老 年 指 数	
大正 9年	55,963,053	20,416,202	32,605,495	2,941,356	36.5	58.3	5.3	62.6	9.0	71.6	14.4	
14年	59,736,822	21,924,045	34,791,714	3,021,063	36.7	58.2	5.1	63.0	8.7	71.7	13.8	
昭和 5年	64,450,005	23,579,265	37,806,865	3,063,875	36.6	58.7	4.8	62.4	8.1	70.5	13.0	
10年	69,254,148	25,545,167	40,484,022	3,224,959	36.9	58.5	4.7	63.1	8.0	71.1	12.6	
15年	73,075,071	26,368,708	43,251,699	3,453,702	36.1	59.2	4.7	61.0	8.0	69.0	13.1	
20年	71,998,104	26,477,086	41,820,903	3,700,115	36.8	58.1	5.1	63.3	8.8	72.2	14.0	
25年	84,114,574	29,786,412	50,168,312	4,155,180	35.4	59.6	4.9	59.4	8.3	67.7	13.9	
30年	90,076,594	30,122,897	55,166,615	4,786,199	33.5	61.3	5.3	54.6	8.7	63.3	15.9	
35年	94,301,623	28,434,159	60,469,355	5,397,980	30.2	64.1	5.7	47.0	8.9	55.9	19.0	
40年	99,209,137	25,529,230	67,444,242	6,235,614	25.7	68.0	6.3	37.9	9.2	47.1	24.4	
45年	104,665,171	25,152,779	72,119,100	7,393,292	24.0	68.9	7.1	34.9	10.3	45.1	29.4	
50年	111,939,643	27,220,692	75,807,317	8,865,429	24.3	67.7	7.9	35.9	11.7	47.6	32.6	
55年	117,060,396	27,507,078	78,834,599	10,647,356	23.5	67.4	9.1	34.9	13.5	48.4	38.7	
60年	121,048,923	26,033,218	82,506,016	12,468,343	21.5	68.2	10.3	31.6	15.1	46.7	47.9	
平成 2年	123,611,167	22,486,239	85,903,976	14,894,595	18.2	69.7	12.1	26.2	17.3	43.5	66.2	
7年	125,570,246	20,013,730	87,164,721	18,260,822	16.0	69.5	14.6	23.0	20.9	43.9	91.2	
12年	126,925,843	18,472,499	86,219,631	22,005,152	14.6	68.1	17.4	21.4	25.5	46.9	119.1	
17年	127,767,994	17,521,234	84,092,414	25,672,005	13.8	66.1	20.2	20.8	30.5	51.4	146.5	
22年	128,057,352	16,803,444	81,031,800	29,245,685	13.2	63.8	23.0	20.7	36.1	56.8	174.0	

資料: 国勢調査結果による。(ただし、昭和20年は人口調査結果)

注 : (1)各年10月1日現在。ただし、昭和20年は11月1日現在。

(2)総数に年齢不詳を含む場合がある。(国勢調査の結果は年齢不詳者を含む)

(3)割合は単位未満四捨五入のため、総数等と一致しない場合がある。

また、分母から年齢不詳を除いて計算している。

(4)昭和15年は外国人を含まない。

3 年齢構成指数（図3、表3）

平成26年10月1日現在の本県の年齢構成指数をみると、年少人口指数が21.8、老年人口指数が44.6、従属人口指数が66.4、老年化指数が204.3となっています。

これを平成25年10月1日現在と比べると、年少人口指数が変化がなく、老年人口指数が2.2ポイント増加、従属人口指数が2.1ポイント増加、老年化指数が9.7ポイント増加となっています。

(1) 年少人口指数【(年少人口÷生産年齢人口)×100】

年少人口指数は、戦後の出生率の低下にともなって急速に低下しました。昭和45年から50年にかけては第二次ベビーブームの影響によりわずかに上昇したものの、昭和57年から再び低下し、平成26年には21.8と終戦直後(昭和20年)の約3分の1になっています。

(2) 老年人口指数【(老年人口÷生産年齢人口)×100】

老年人口指数は、昭和25年には8.3でしたが、その後老年人口の増加にともなって次第に上昇し、平成26年には過去最高の44.6に達しました。

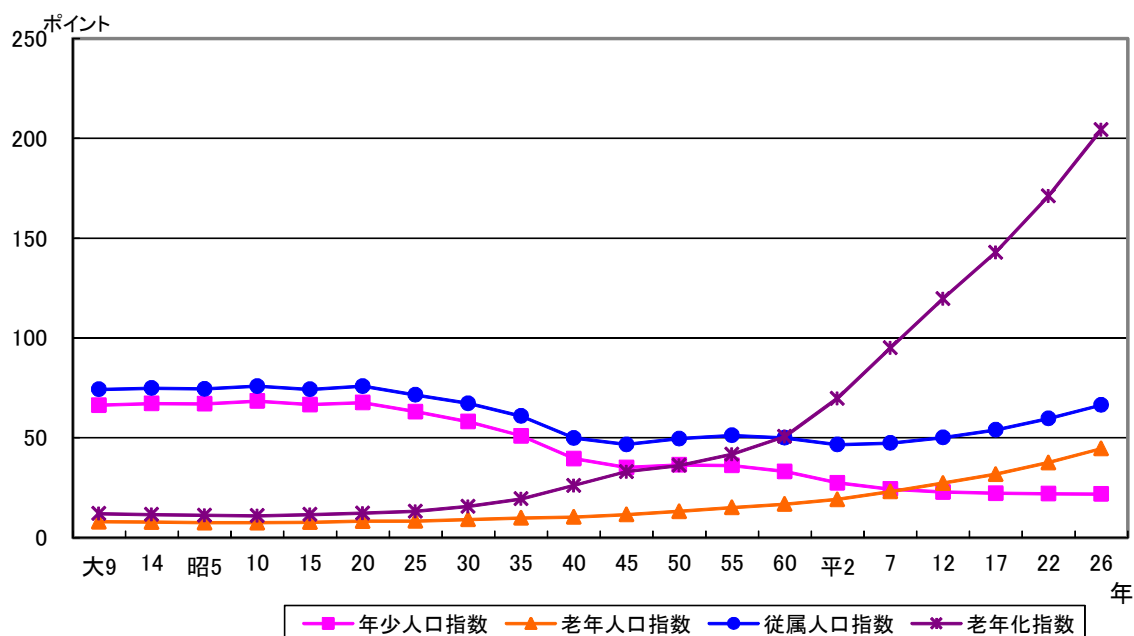
(3) 従属人口指数【((年少人口+老年人口)÷生産年齢人口)×100】

従属人口指数は、昭和57年から低下が続いていましたが、平成4年から上昇に転じました。

(4) 老年化指数【(老年人口÷年少人口)×100】

老年化指数は、年少人口の減少と老年人口の増加により上昇が著しく、平成8年には100を超え、平成26年には初めて200を超え、過去最高の204.3に達しました。

★図3 本県年齢構成指数の推移(大正9年～平成26年)



■表3 本県の年齢構成指数の推移(大正9年～平成26年)

年次	年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
大正 9	66.3	7.9	74.3	12.0
14	67.1	7.7	74.9	11.5
昭和 5	67.0	7.5	74.5	11.1
10	68.4	7.5	75.8	10.9
15	66.6	7.7	74.2	11.5
20	67.6	8.3	75.8	12.2
25	63.1	8.3	71.4	13.1
30	58.1	9.1	67.2	15.6
35	51.0	9.9	60.8	19.3
40	39.6	10.3	49.9	26.0
45	35.1	11.6	46.7	32.9
50	36.4	13.1	49.6	36.1
55	36.1	15.1	51.2	41.7
56	36.3	15.5	51.8	42.7
57	35.6	15.8	51.4	44.4
58	34.9	16.1	51.0	46.2
59	34.1	16.3	50.4	47.9
60	33.2	16.8	49.9	50.6
61	32.1	17.0	49.1	53.1
62	30.9	17.4	48.3	56.4
63	29.6	17.9	47.5	60.3
平成 元	28.5	18.4	46.9	64.6
2	27.5	19.1	46.6	69.6
3	26.5	19.8	46.3	74.7
4	25.8	20.5	46.4	79.6
5	25.1	21.3	46.4	84.7
6	24.6	22.1	46.7	89.8
7	24.3	23.0	47.3	95.0
8	23.9	23.9	47.8	100.1
9	23.6	24.8	48.4	104.8
10	23.3	25.5	48.8	109.5
11	23.0	26.3	49.3	114.3
12	22.8	27.3	50.1	119.6
13	22.6	28.1	50.8	124.3
14	22.5	29.1	51.6	129.0
15	22.4	29.9	52.3	133.3
16	22.2	30.5	52.7	137.1
17	22.2	31.7	53.9	142.8
18	22.3	33.0	55.3	148.2
19	22.3	34.3	56.6	154.0
20	22.3	35.6	57.9	159.3
21	22.3	36.9	59.2	165.2
22	22.0	37.6	59.6	171.0
23	21.9	38.3	60.2	175.4
24	21.8	40.4	62.2	185.0
25	21.8	42.4	64.3	194.6
26	21.8	44.6	66.4	204.3

(資料) 5年毎の数値…国勢調査結果

昭和56年以降の斜字・網掛け部分…群馬県年齢別人口統計調査

(注) 各年10月1日現在。ただし、昭和20年は11月1日現在。

II 市町村の年齢構造

1 年齢3区分別人口割合（表4、図4-1、4-2）

(1) 年少人口割合

年少人口割合が最も高いのは吉岡町(16.4%)で、最も低いのは南牧村(3.6%)となっています。

(2) 生産年齢人口割合

生産年齢人口割合が最も高いのは玉村町(66.7%)で、最も低いのは南牧村(37.3%)となっています。

(3) 老年人口割合

老年人口割合が最も高いのは南牧村(59.1%)で、最も低いのは大泉町(20.1%)となっています。

■表4 市町村別・年齢3区分別人口割合(平成26年)

(1) 高い順

(単位：%)

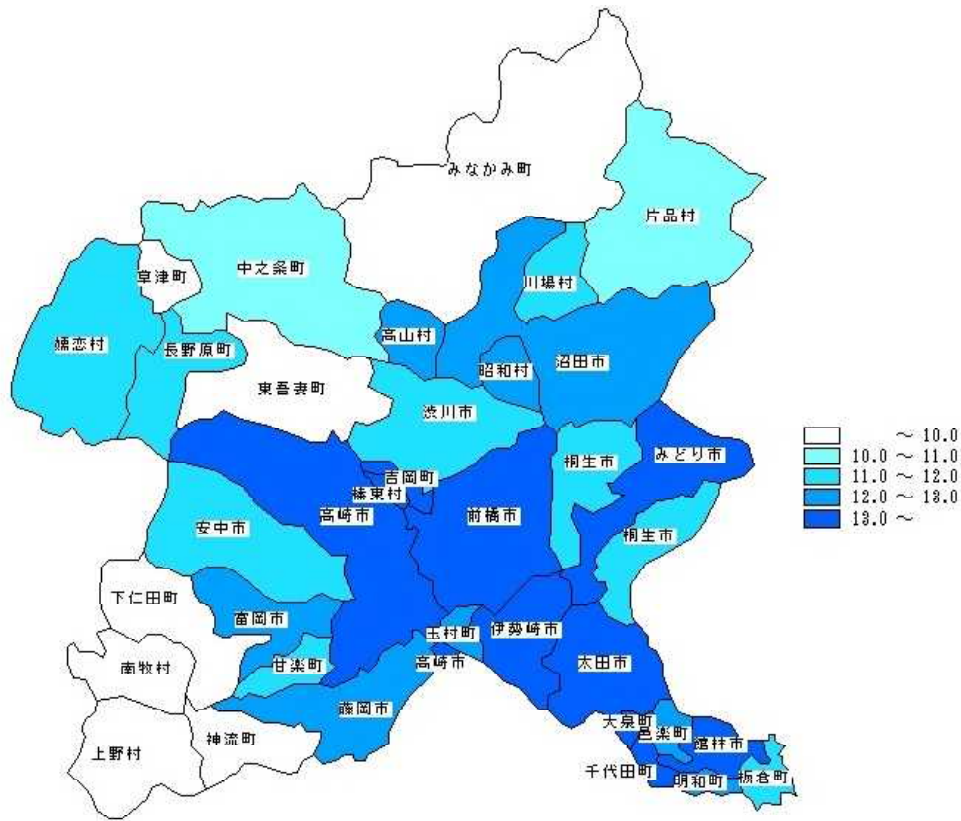
年少人口			生産年齢人口			老年人口		
順位	市町村名	割合(昨年)	順位	市町村名	割合(昨年)	順位	市町村名	割合(昨年)
1	吉岡町	16.4(16.4)	1	玉村町	66.7(67.5)	1	南牧村	59.1(58.5)
2	太田市	14.8(15.0)	2	大泉町	66.6(67.1)	2	神流町	56.8(55.2)
3	伊勢崎市	14.7(14.9)	3	榛東村	63.5(64.4)	3	下仁田町	43.8(42.5)
4	みどり市	14.0(14.1)	4	伊勢崎市	62.2(62.8)	4	上野村	43.3(41.9)
5	榛東村	13.7(14.0)	5	吉岡町	61.9(62.7)	5	川場村	40.0(38.7)
6	高崎市	13.6(13.7)	6	太田市	61.5(62.2)	6	草津町	36.6(35.2)
7	大泉町	13.3(13.4)	7	明和町	61.1(62.2)	7	中之条町	36.4(35.4)
8	千代田町	13.3(13.3)	8	千代田町	61.0(62.1)	8	みなかみ町	35.3(34.3)
9	館林市	13.2(13.5)	9	高崎市	60.6(61.4)	9	東吾妻町	34.6(33.4)
10	前橋市	13.1(13.2)	10	邑楽町	60.6(61.8)	10	片品村	33.7(31.9)
県計		13.1(13.3)	県計		60.1(60.9)	県計		26.8(25.8)

(2) 低い順

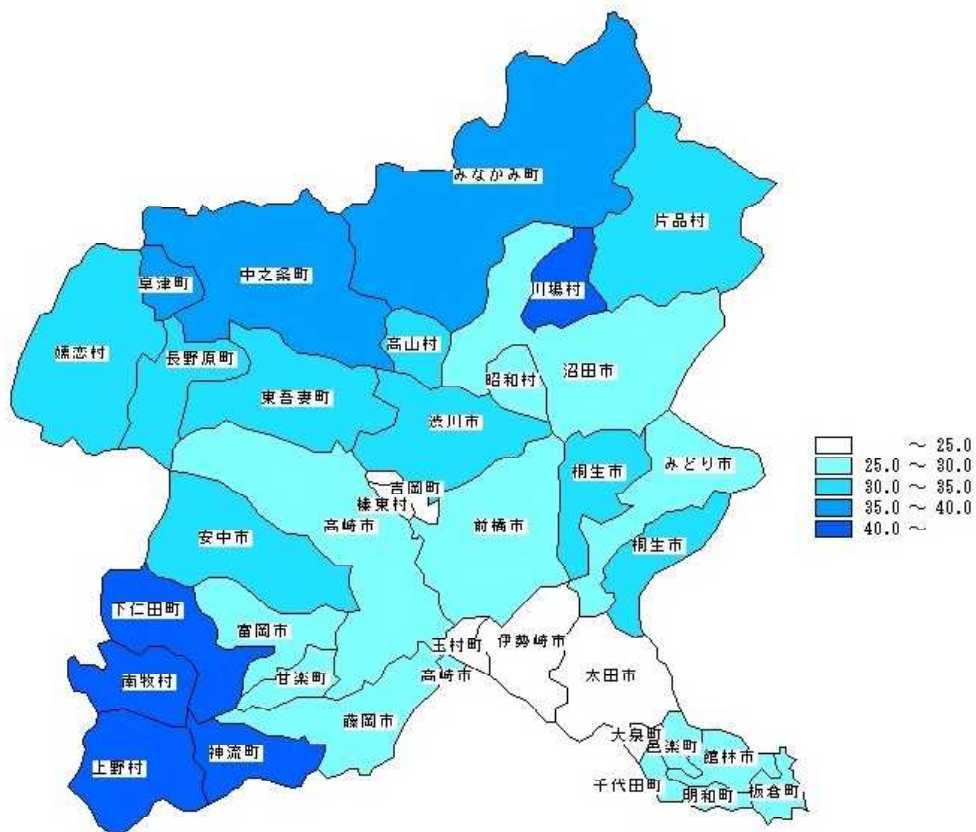
(単位：%)

年少人口			生産年齢人口			老年人口		
順位	市町村名	割合(昨年)	順位	市町村名	割合(昨年)	順位	市町村名	割合(昨年)
1	南牧村	3.6(3.9)	1	南牧村	37.3(37.6)	1	大泉町	20.1(19.5)
2	神流町	4.4(4.3)	2	神流町	38.8(40.5)	2	玉村町	20.4(19.2)
3	下仁田町	6.5(6.6)	3	上野村	46.8(47.5)	3	吉岡町	21.6(21.0)
4	草津町	9.5(10.0)	4	川場村	48.6(49.7)	4	榛東村	22.8(21.7)
5	みなかみ町	9.9(10.0)	5	下仁田町	49.7(50.9)	5	伊勢崎市	23.1(22.3)
6	東吾妻町	9.9(10.0)	6	中之条町	53.5(54.4)	6	太田市	23.7(22.8)
7	上野村	9.9(10.6)	7	草津町	53.9(54.8)	7	千代田町	25.8(24.6)
8	中之条町	10.2(10.3)	8	高山村	54.3(55.2)	8	高崎市	25.8(24.9)
9	片品村	10.4(10.8)	9	みなかみ町	54.8(55.7)	9	みどり市	26.1(25.1)
10	桐生市	11.0(11.2)	10	東吾妻町	55.4(56.6)	10	明和町	26.1(25.0)

★図 4-1 市町村別・年少人口割合



★図 4-2 市町村別・老年人口割合



2 年齢構成指数（表5、図5-1、5-2、5-3、5-4）

（1）年少人口指数

年少人口指数が最も高いのは吉岡町(26.5)で、最も低いのは南牧村(9.6)となっています。

（2）老年人口指数

老年人口指数が最も高いのは南牧村(158.5)で、最も低いのは大泉町(30.2)となっています。

（3）従属人口指数

従属人口指数が最も高いのは南牧村(168.1)で、最も低いのは玉村町(50.0)となっています。

（4）老年化指数

老年化指数が最も高いのは南牧村(1647.3)で、最も低いのは吉岡町(131.8)となっています。

■表5 市町村別・年齢構成指数(平成26年)

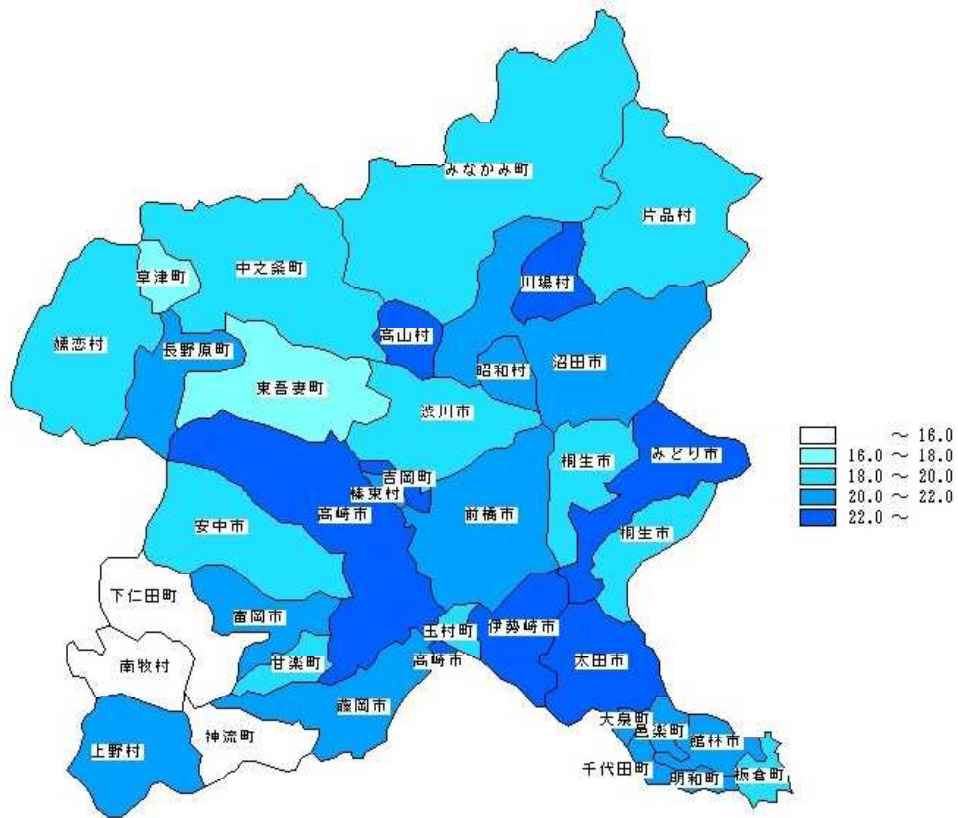
（1）高い順

年少人口指数			老年人口指数			従属人口指数			老年化指数		
順位	市町村名	指数(昨年)	順位	市町村名	指数(昨年)	順位	市町村名	指数(昨年)	順位	市町村名	指数(昨年)
1	吉岡町	26.5(26.2)	1	南牧村	158.5(155.4)	1	南牧村	168.1(165.8)	1	南牧村	1647.3(1495.2)
2	太田市	24.1(24.1)	2	神流町	146.4(136.3)	2	神流町	157.7(146.8)	2	神流町	1297.8(1293.3)
3	伊勢崎市	23.6(23.7)	3	上野村	92.5(88.3)	3	上野村	113.8(110.6)	3	下仁田町	673.0(640.8)
4	川場村	23.4(23.4)	4	下仁田町	88.2(83.5)	4	川場村	105.8(101.3)	4	上野村	436.0(394.9)
5	みどり市	23.3(23.3)	5	川場村	82.3(77.9)	5	下仁田町	101.3(96.5)	5	草津町	383.1(353.3)
6	高山村	22.7(22.5)	6	中之条町	68.0(65.1)	6	中之条町	87.0(83.9)	6	中之条町	357.8(344.5)
7	高崎市	22.4(22.3)	7	草津町	67.9(64.3)	7	草津町	85.6(82.5)	7	みなかみ町	357.4(342.2)
8	館林市	21.8(22.0)	8	みなかみ町	64.3(61.5)	8	高山村	84.2(81.3)	8	川場村	351.2(333.3)
9	千代田町	21.8(21.4)	9	東吾妻町	62.5(58.9)	9	みなかみ町	82.4(79.4)	9	東吾妻町	349.1(333.1)
10	前橋市	21.7(21.6)	10	高山村	61.6(58.7)	10	東吾妻町	80.4(76.6)	10	片品村	322.6(294.6)
県計		21.8(21.8)	県計		44.6(42.4)	県計		66.4(64.3)	県計		204.3(194.6)

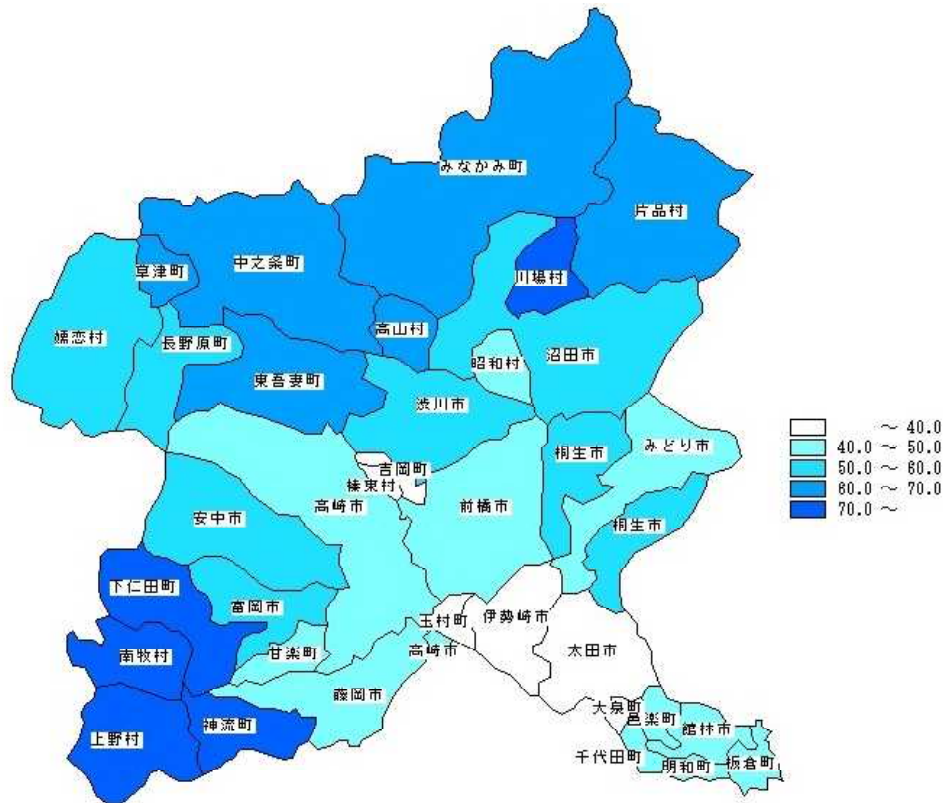
（2）低い順

年少人口指数			老年人口指数			従属人口指数			老年化指数		
順位	市町村名	指数(昨年)	順位	市町村名	指数(昨年)	順位	市町村名	指数(昨年)	順位	市町村名	指数(昨年)
1	南牧村	9.6(10.4)	1	大泉町	30.2(29.0)	1	玉村町	50.0(48.1)	1	吉岡町	131.8(127.8)
2	神流町	11.3(10.5)	2	玉村町	30.6(28.4)	2	大泉町	50.2(49.0)	2	大泉町	150.8(145.5)
3	下仁田町	13.1(13.0)	3	吉岡町	34.9(33.4)	3	榛東村	57.5(55.4)	3	玉村町	157.6(144.0)
4	草津町	17.7(18.2)	4	榛東村	35.9(33.7)	4	伊勢崎市	60.8(59.3)	4	伊勢崎市	157.8(150.1)
5	東吾妻町	17.9(17.7)	5	伊勢崎市	37.2(35.6)	5	吉岡町	61.5(59.6)	5	太田市	159.5(151.6)
6	みなかみ町	18.0(18.0)	6	太田市	38.5(36.6)	6	太田市	62.6(60.7)	6	榛東村	166.7(155.4)
7	片品村	18.7(18.9)	7	千代田町	42.3(39.5)	7	明和町	63.5(60.7)	7	みどり市	187.0(177.3)
8	中之条町	19.0(18.9)	8	高崎市	42.5(40.6)	8	千代田町	64.1(60.9)	8	高崎市	189.8(182.1)
9	板倉町	19.1(18.9)	9	明和町	42.7(40.2)	9	高崎市	64.9(62.9)	9	千代田町	194.1(184.6)
10	甘楽町	19.4(19.6)	10	館林市	43.4(41.2)	10	邑楽町	65.0(61.9)	10	館林市	199.0(187.3)

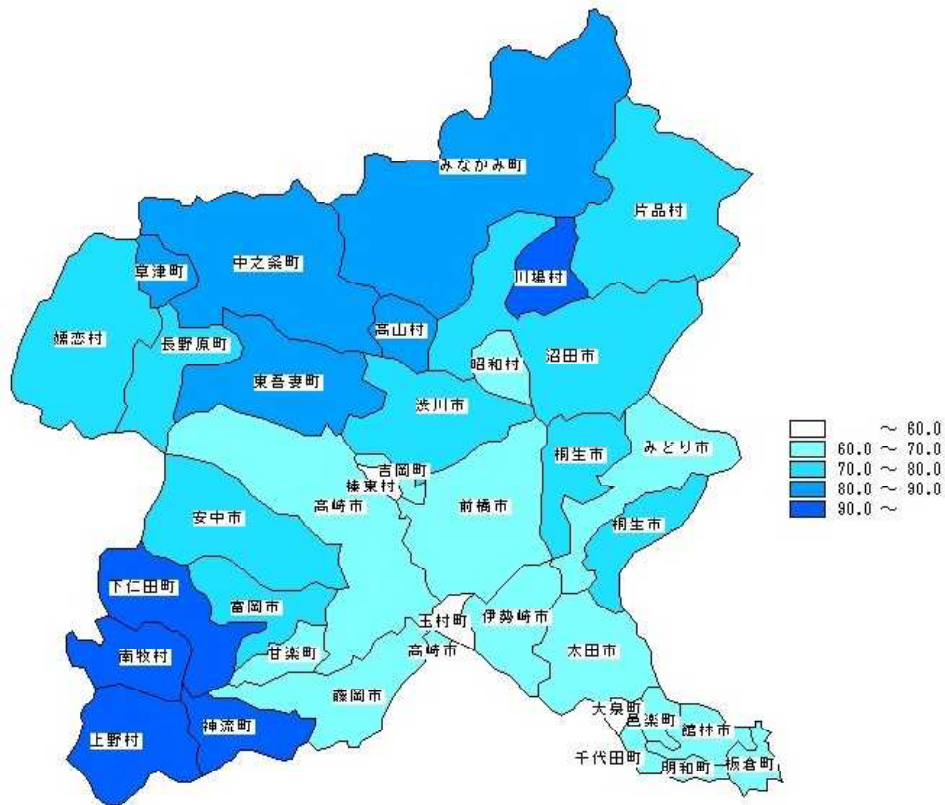
★図 5-1 市町村別・年少人口指数



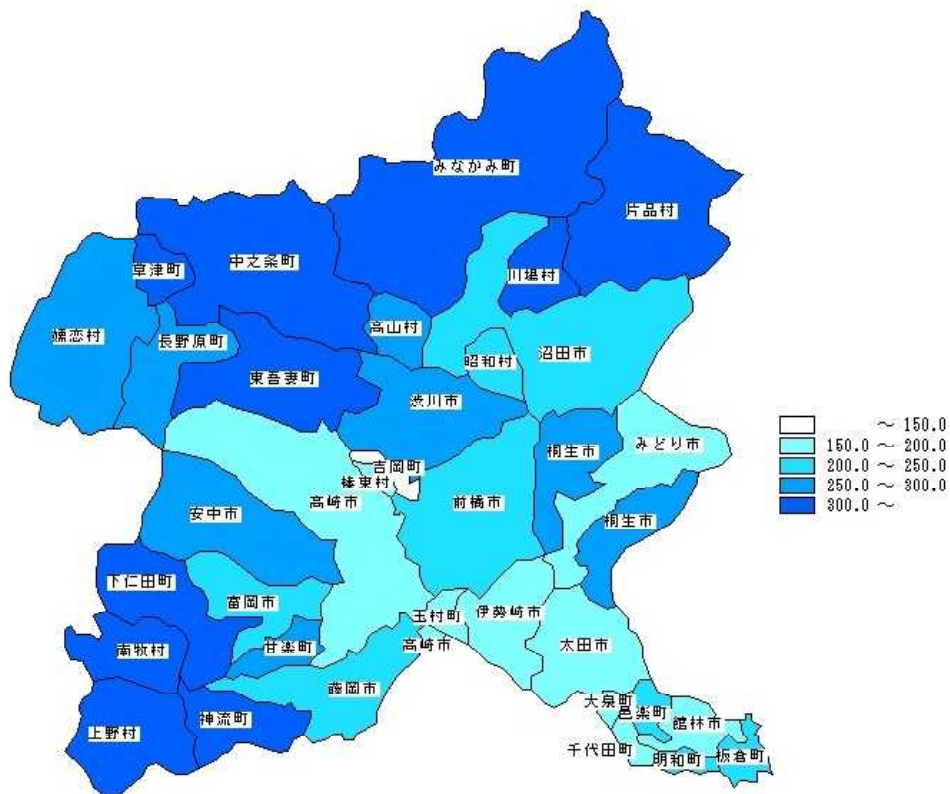
★図 5-2 市町村別・老年人口指数



★図 5-3 市町村別・従属人口指数



★図 5-4 市町村別・老年化指数



統計表

